

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）重点枠の新規採択について

1. 概要

- ・平成30年度から新たに2年間、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）重点枠に指定された。
- ・平成22年度に結成した「大分スーパーサイエンスコンソーシアム」を、さらに生徒主体の取組とし、全県の理数教育の向上を図りたい。

2. 「大分スーパーサイエンスコンソーシアム（OSSコンソ）」

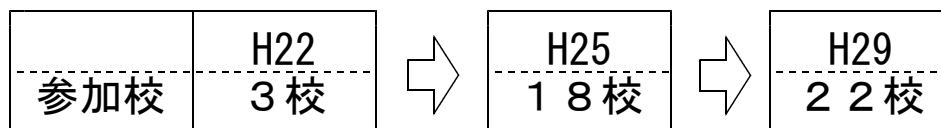
○ねらい

- ・「OSSコンソを核とし、科学的探究力と論理的思考力を備えた国際的に活躍できる人材育成」

○内容

- ・大分舞鶴、日田、佐伯鶴城のSSH校と、大分上野丘、大分豊府が中心となって、全県の普通科高校が連携し、科学講演会や科学テーマに関する課題研究を実施
- ・課題研究の優秀者については、台湾への科学交流研修を実施、グローバルに活躍できる人材の育成
- ・セミナーの企画や運営を行う生徒主体の取組による「OSSリーダーズ」を結成

○県全体への普及状況（OSSコンソ参加校）



3. 本県のSSH基礎枠指定の状況（H30年度）

- ・大分舞鶴（H17年度～、第3期4年目）
- ・日田（H23年度～、第2期3年目）
- ・佐伯鶴城（H29年度～、第1期2年目）

（参考）

- ・重点枠とは、SSH指定校の中で、教育課程や指導法等を他の学校に普及し、地域全体の理数教育の向上を目指す学校を文部科学省が指定
- ・本年度は全国22校の応募から、6校が採択（大分県が九州唯一の採択）
- ・1年間の経費は1,000万円

SSH 科学技術人材育成重点校 OSSコンソ(大分スーパーサイエンスコンソーシアム)の取組

目的：科学的探究力と論理的思考力を備えた国際的に活躍できる科学技術人材の育成

これまでの取組

大分県からノーベル賞科学者を！

・科学者を志す生徒が集い、課題探究型プログラム活動！

人材育成

- 課題研究
 - ・学校を越え、県全体で生徒の科学的探究力を育成
- OSS海外研修(台湾)
 - ・英語でのプレゼンテーションや科学意見交流を体験

教材開発

- 探究活動実践集の開発
 - ・探究活動の指導法等の共有と県内全教員で生徒を育てる文化の形成
- 探究活動指導者研修会
 - ・コア校教員による「課題研究指導法」の研修と授業改善への活用

地域連携

- OSSサポートネットワーク
 - ・大学、研究機関等の課題研究への指導・助言等(31カ所)
- 普及活動
 - ・科学の甲子園ジュニア、O-Labo、OSSセミナー等

これまでの成果

OSSコンソ参加校が22校へ拡大！
3校(H22)30名 ⇒18校(H25) ⇒22校(H29) 150名

OSSコア5校

(SSH)大分舞鶴,日田,佐伯鶴城
(SSH以外)大分上野丘,大分豊府

連携校17校

中津南、宇佐、杵築、別府鶴見丘、竹田、臼杵等

参加校の全国レベルの活躍

- 大分舞鶴
 - ・第41回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門生物 **優秀賞**
- 大分上野丘
 - ・第38.39.40回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門化学 **最優秀賞**
- 大分舞鶴
 - ・第59回日本学生科学賞中央審査 全国入賞 日本科学未来館賞

これからの取組(H30～)

科学技術人材育成の充実→生徒主体の「OSSリーダーズ」の結成

目的

- OSSコンソを自立的な組織へ変革
 - ・参加校の代表生徒を中心とした他の生徒を牽引する組織を結成
 - ・コンソOBも活用し、さらなる高みを目指す

組織

コア校(5校) 連携校(17校)
1, 2年 + 2年
各1名 各1名
(計10名) (計17名)

取組

- ・切磋琢磨し 高いレベルの研究を追究
- ・OSSコンソの企画・運営
- ・自校や地域へ普及と還元

計画

- 5月
 - ・2年生のリーダーズ選出
 - ・OSSフェスタ企画内容の協議
- 6月
 - ・科学の甲子園ジュニアの事前学習サポート
 - ・OSSフェスタの運営の準備
- 7月
 - ・1年生のリーダーズ選出
 - ・OSSフェスタ運営 ・県外研修に参加
- 8月～
 - ・各学校におけるリーダーの科学普及活動
 - 文化祭等でのOSS成果の発表
- 11月
 - ・成果発表会の企画内容の協議
 - ・科学普及活動の進捗状況の確認
- 1月
 - ・OSS成果発表会の運営
 - ・自己・相互評価による検証、計画を協議